

平塚市

企業版ふるさと納税制度を 活用した取組のご紹介

①平塚駅周辺地区活性化推進事業 p.2～9

(都市整備部都市整備課)



②波力発電関連分野での p.10～16

新産業創出促進事業

(産業振興部産業振興課)



8 働きがいも
経済成長も



11 住み続けられる
まちづくりを



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



令和6年2月21日（水）
平塚市企業版ふるさと納税募集事業①
平塚市都市整備部都市整備課

平塚駅周辺地区の活性化に向けた地域主体のまちづくりの支援

平塚駅周辺地区活性化推進事業

企業と地方公共団体との地域別マッチング会
～プレゼン・個別面談・名刺交換会～ in 神奈川



背景

- ◆ 郊外への大型店舗の出店
- ◆ ネットショッピングの普及
- ◆ ライフスタイルの変化



**買い物客や
歩行者通行量の減少
空き店舗の増加**

一方で

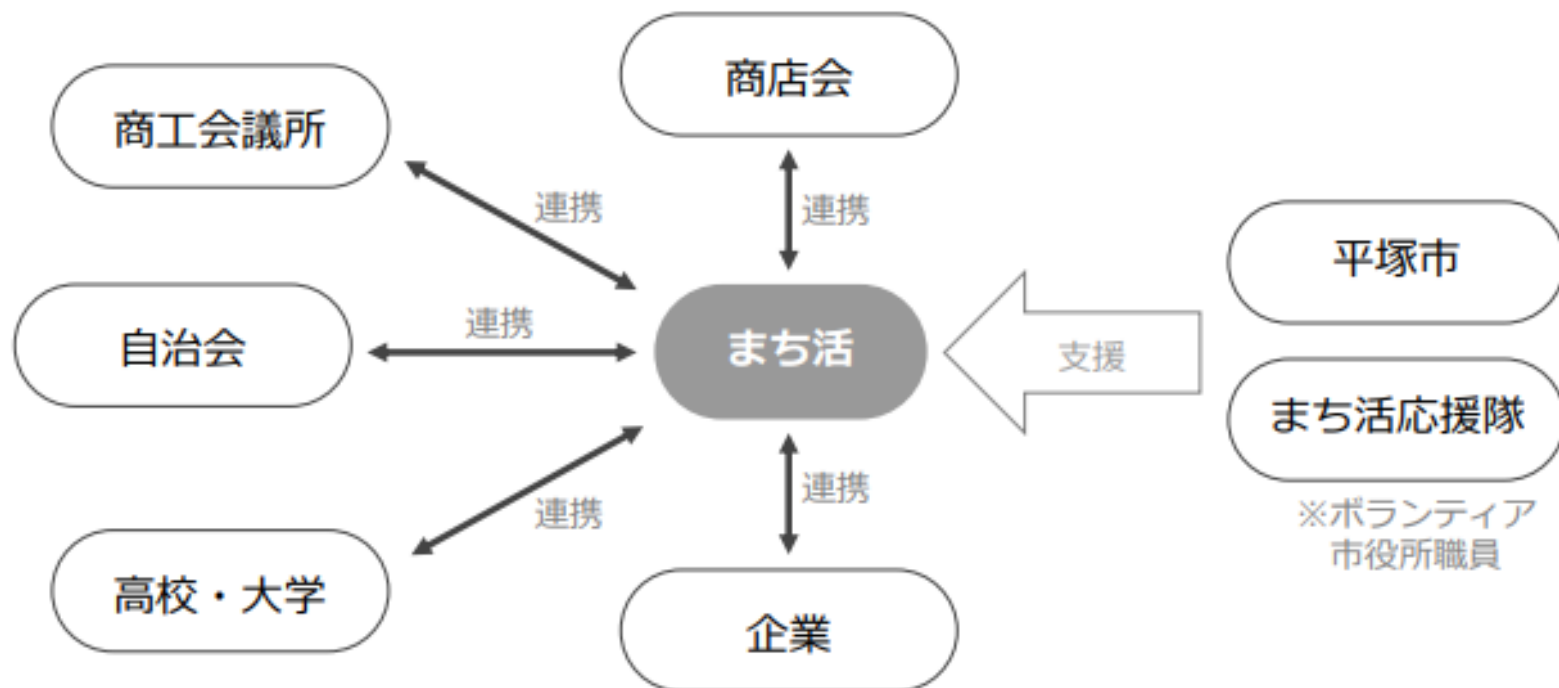
- ◆ 商店会等の主体的な活動
- ◆ 個店の魅力をPRする
「まちゼミ」
- ◆ 平塚文化芸術ホールオープン



**活性化につながる
動きや流れ**

事業内容

- ◆平塚駅周辺地区の活性化や持続可能なまちづくりの実現を目指し、**継続的な地域主体のまちづくり**の推進
- ◆将来的な**エリアマネジメントの具体化**に向けた検討



まちなかベース「きちきち」の開設・運営



- ◆多様な人の活動拠点、滞留場所など、チャレンジの場となる**コミュニティハブ**とし開設
- ◆地域住民等の交流の場、学生の部活動、チャレンジショップ、マルシェなどの**様々な用途で活用**

公共空間を活用した滞留スペースの設置



- ◆道路等に人工芝等を設置し、滞留スペースを作る**社会実験**を実施
- ◆実施結果を検証し、今後の**まちなかの整備等の検討材料**として活用

空間形成ガイドラインの策定



- ◆商店街の「通り」ごとの**めざすまちの姿**を地域主体で策定

出店支援



- ◆「きちきち」を**チャレンジショップ**として活用した**商業者が、まち活メンバーのサポート**を得て**新規出店**

PR活動



- ◆まち活のホームページやSNS、チラシにより「きちきち」で実施される**イベント**や**まちなかの店舗の情報**を発信

◆新しいまちづくりへの関わり

◆まちなかや「きちきち」を活用したイベントの実施

▶ チャレンジの場・事業展開の場として活用

◆商業者、学生、他の事業者など、
様々な主体・地域のステークホルダーと交流・連携

▶ 新たな事業展開の可能性・ビジネスチャンスの創出

◆地域とともに活動することで企業の理解を得る機会

▶ 企業のPR

◆地域とともに課題達成へ取り組む

▶ 企業イメージの向上

〔事例〕 寄附をきっかけとした地域主体の活動への参加

平塚信用金庫様 ※信金中央金庫様からの寄附をきっかけに連携

- ◆まちなかベース「きちきち」にて、顧客の商品のブラッシュアップ・マーケティング・販路拡大を目的として開催
- ◆当日は約300人が来場。このほかにも、まち活と共催で「きちきち」を使用してマルシェ等を開催し、出店者からも好評を得て継続的に取組を実施



「圏央道の宝物グランプリ販売会IN平塚」

〔事例〕 寄附をきっかけとした地域主体の活動への参加

日本たばこ産業株式会社様

- ◆多様な事業者や団体に参加を呼びかけ、地域貢献や環境問題を共通ワードに、最終的には地域改善や各種事業へ結びつけることを期待し、ワークショップを開催
- ◆参加者からは、異業種交流ができた、社会課題がビジネスチャンスにつながり得ることを実感できた等のコメント



「ゴミ問題の“今を知る”」

ご寄附いただいた場合は…

- ◆市長から感謝状の贈呈
- ◆記者発表
- ◆ホームページ掲載



企業様をPRさせていただきます

平塚駅周辺地区の活性化

持続可能なまちづくりの実現

に向けて

地域主体のまちづくりや
エリアマネジメントなどに

ご興味を持っていただいた企業の皆様

寄附だけでなく、本事業へのご提案・ご相談大歓迎です！

平塚まちなか活性化隊



HP



Facebook



Instagram

連絡先

平塚市都市整備部都市整備課 山下・橋本

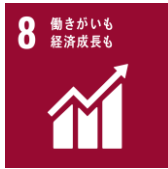
☎ 0463-21-8783

✉ machi-j@city.hiratsuka.kanagawa.jp

HP https://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/sumai/page54_00022.html

令和6年2月21日(水)

企業と地方公共団体との地域別マッチング会
～プレゼン・個別面談・名刺交換会～ in神奈川



海の力を電気に変える再生可能エネルギー

平塚市企業版ふるさと納税募集事業②

平塚市産業振興部産業振興課

波力発電関連分野での新産業創出促進事業



波力発電所設置工事中の写真

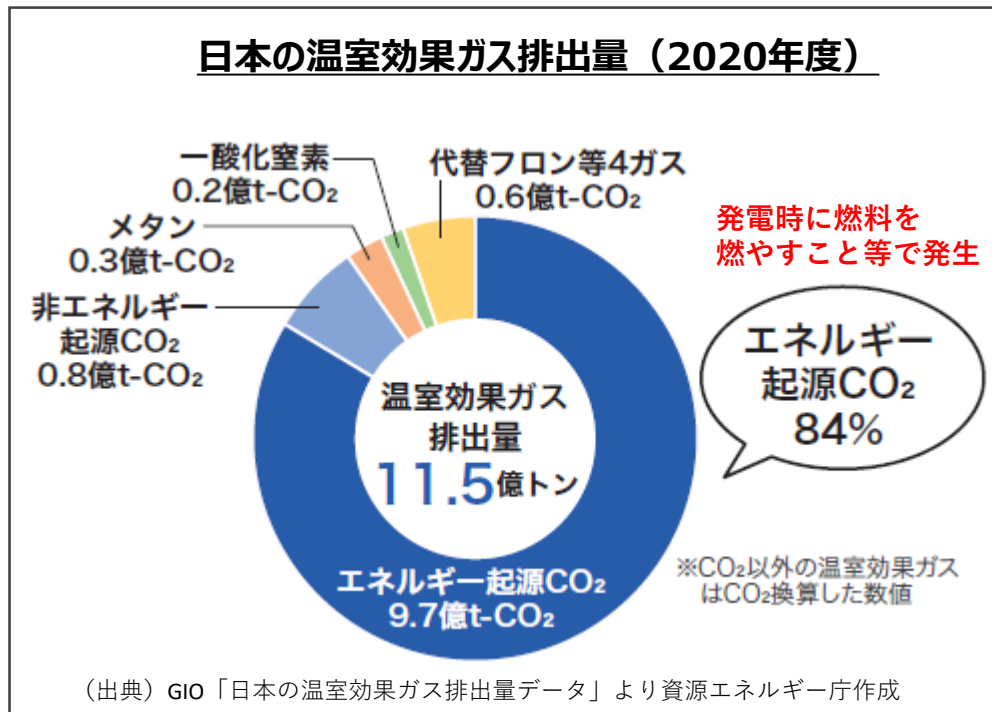


環境省

「平成30年度CO2排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業」
平塚波力発電所 (※2022年2月に撤去済み)

背景

脱炭素技術として有望な**波力発電**関連分野での新産業創出に向け、平塚市は2016年度から東京大学生産技術研究所や多くの企業と共に、**平塚海洋エネルギー研究会**を組織し、**波力発電の研究開発**を支援してきました。



目的

波力発電関連分野での新産業創出促進事業

気候変動対策として重要な**脱炭素技術「波力発電」**を平塚で**開発・実証し、新産業創出につなげる**こと

平塚波力発電所の海域実証

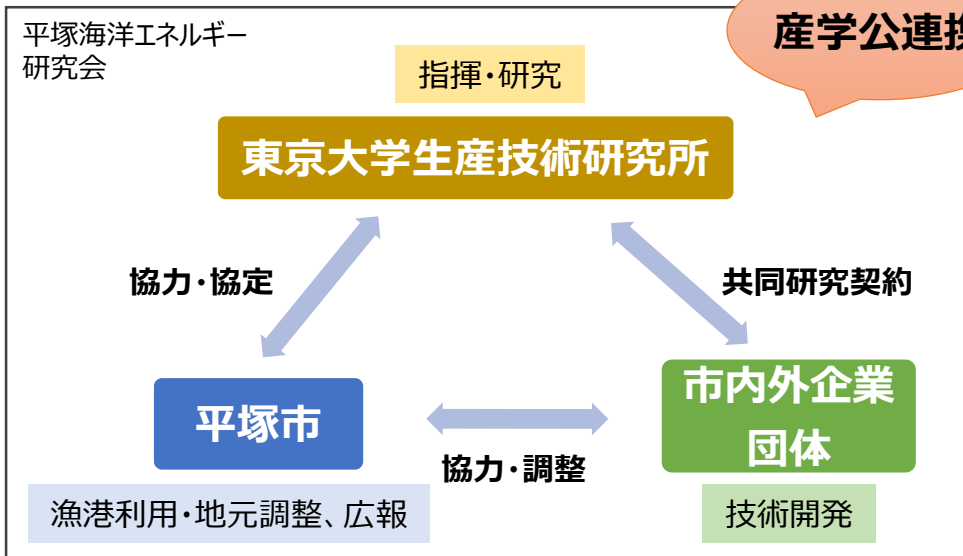
環境省「CO2排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業」(2018年度～2021年度)

- 2018年度、東京大学生産技術研究所が、CO₂排出削減技術を開発する環境省の事業に選ばれ、平塚波力発電所の設置が決定
- 2019年度、発電装置を設置、経済産業省の使用前検査に合格後、平塚波力発電所として正式に稼働し、海域実証試験を開始

海域実証試験の詳細はHPをご覧ください▶

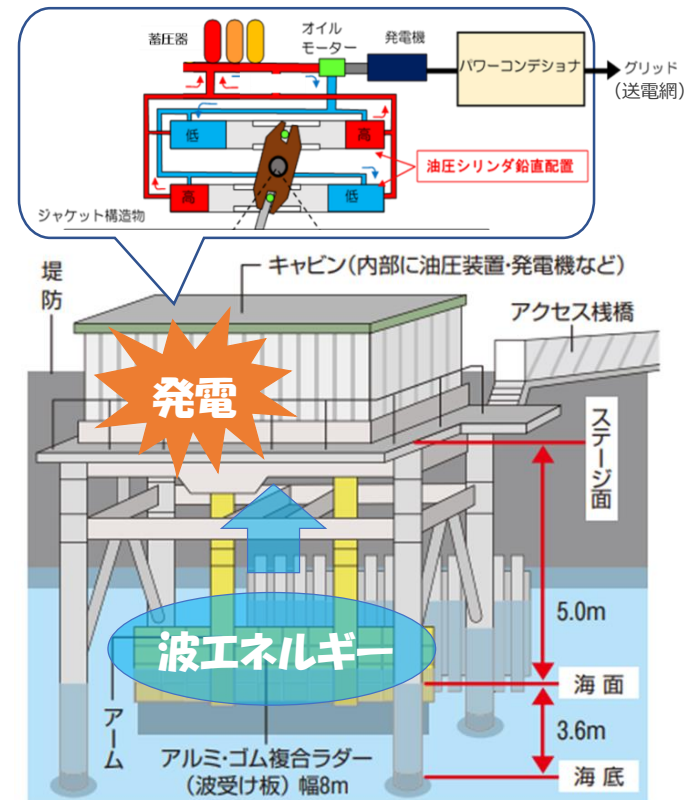


産学公連携



波力発電の仕組み

平塚波力発電所は、ラダー（波受け板）が波を受けて振り子のように動き、そのエネルギーが油圧装置を通じて発電機を回し、電気をつくる仕組みです。



◆ **波力発電は、各国で開発競争の只中** ➡ 未だ商用化に成功した事例はなし

実用化に近い!

◆ **平塚波力発電所は、東京電力の電線につないでの実証事業を実施**

☞ 東京電力のような系統に接続でき、かつ実際に発電できたのは世界的にもかなりレアなケース

平塚波力発電所が国際エネルギー機関のオーシャン・エネルギー・システムズ年次報告に「**主な成功**」と掲載されました <https://www.ocean-energy-systems.org/publications/oes-annual-reports/>



one month, a project led by Nagasaki University. On wave energy, major success is the installation of a new wave power plant developed by the University of Tokyo, in front of the **Hiratsuka** Shinko breakwater in Kanagawa prefecture, already connected to the grid. Saga University has been

他企業や大学からの
関心UP

◆ ヤフー株式会社(当時)「**地域カーボンニュートラル促進プロジェクト**」で、**企業版ふるさと納税の寄附先に選定されました (2021年度、2022年度)**



<選定理由>

波力発電の研究開発については今までも5年ほどプロジェクト実績があり、多様なステークホルダーを巻き込んでいる点を評価。海に面している平塚市の特徴を生かした施策であり、同様の地形を持つ地域への横展開の可能性もある。

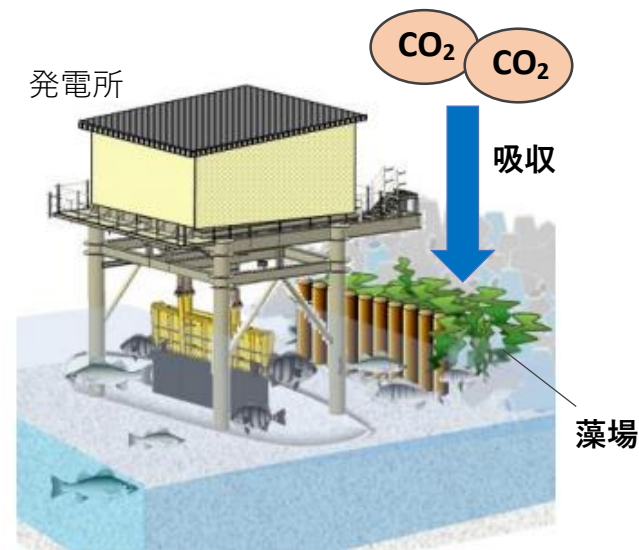


* 波力発電所を活用したブルーカーボン実証実験

海草や海藻は生長する際に、海の中でCO₂を吸収します。この海洋生態系に蓄積される炭素を「ブルーカーボン」と呼びます。

発電所の波反射板背後は、波が弱くなるため、藻場造成の適地となる可能性があることから、海藻類（ワカメ）の育成試験を行いました。

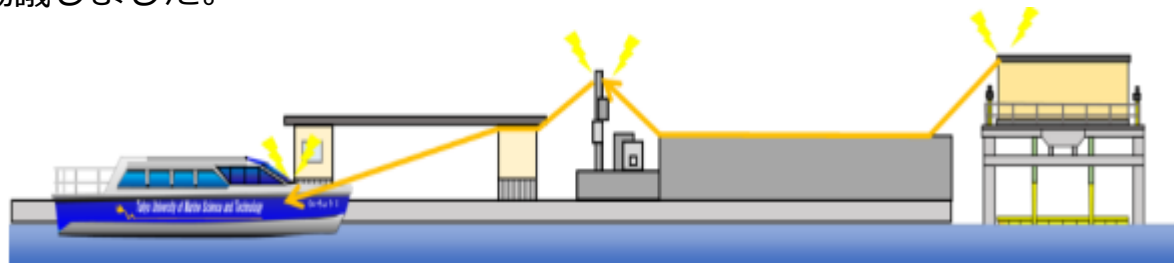
➡結果：観察途中で海藻類が消失し（魚に食べられた可能性が高い）、育成の実証はできませんでしたが、水中カメラによって発電所周辺に魚が集まることが確認されました。➡漁礁効果に期待



* 電池推進船の漁業利用の実証実験 ～漁業の脱炭素化を目指して～

EV化の加速によって石油燃料の需要が下がり燃料の価格高騰が懸念される中で、漁船の電化が経済的にも脱炭素にも効果的であると考え、波力発電所からの給電を想定して、実証実験を行いました。

地元漁業者にも電池推進船に乗船していただき、実証実験終了後、意見交換会を開催し、課題や今後の方向性について協議しました。



2016 ~ 2022年度	現在	今後
---------------	----	----

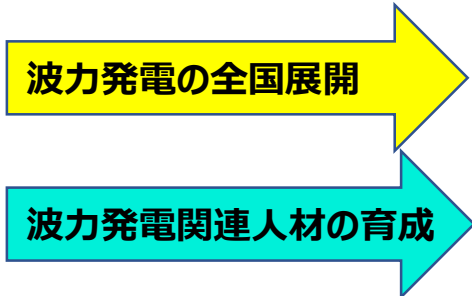
- ・研究会発足
- ・平塚波力発電所の海域実証
- ・ブルーカーボン実証実験
- ・電池推進船実証実験
- ・啓発活動、情報収集など

次の新型波力発電所の海域設置に向けて…

- ・低コスト化に向けた研究開発等支援中
- ・資金調達支援中



新型波力発電所の
海域設置
研究開発拠点化



海洋再生可能エネルギー普及に必要な要素



平塚の波力発電事業は産学公の連携で
技術系の要素をすべてカバー



前回の海域実証時の課題等を改良した
新型波力発電所の海域設置・研究開発拠点化

